

2021年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 1/3

| 日程 | 研究科 | 区分 | 試験科目 |
|-----|----------|---------------------|------|
| A日程 | 応用言語学研究科 | 一般 社会人 外国人留学生 | 日本語 |

第1問 (1)～(10)の下線部の漢字の読みをひらがなで書きなさい。

- (1) 多様化を 象徴 する現象である。
- (2) これはA氏等の研究に 端 を発するものである。
- (3) これは社会言語学において 汎用性 のある方法である。
- (4) これは 意図的 に設定したものである。
- (5) 質的分析と量的分析の 融合 を目指す。
- (6) A型はB型より 顕著 に低い出現率を示す。
- (7) 1時間当たりの 頻度 を測定する。
- (8) これが最も重要な点であると言っても 過言 ではない。
- (9) 該当 する論文についてはすべて引用した。
- (10) 学習者の状況に 合致 した教授法を活用する。

第2問 (11)～(20)の下線部のひらがなを漢字に直しなさい。

- (11) 本節では、これまでの実態を がいかん する。
- (12) 数値が増加した よういん を探る。
- (13) 両者間の意識の さい は大きかった。
- (14) AとBの参考 ぶんけん を調べる。
- (15) 両者は ゆうきてき に結合している。
- (16) この実験調査の ひけんしゃ は男女あわせて100名であった。
- (17) 誤差は きょよう の範囲だと認められる。
- (18) 企画の しゅし に応じた研究テーマを選ぶ。
- (19) 調査により多様化の現状を はあく するに至った。
- (20) くわしくはホームページを さんしょう してほしい。

第3問 次の文の下線(21)～(25)に適切なことばを下のA～Eから選んで、その記号を書きなさい。

- ・ この研究は独自性の (21) を目指して行ったものである。
- ・ アンケート調査の記述に (22) があるものは、除いて集計した。
- ・ この現象が何に (23) するものかは、まだ解明されていない。
- ・ 調査結果を受けて新たな概念を (24) しているが、これまでの概念との違いについては (25) がなかった。

A.起因 B.言及 C.不備 D.提起 E.追及

2021年度大学院応用言語学研究科博士前期課程入学試験問題

No. 2/3

| 日程 | 研究科 | 区分 | 試験科目 |
|-----|----------|---------------------|------|
| A日程 | 応用言語学研究科 | 一般 社会人 外国人留学生 | 日本語 |

第4問 次の文章を読んで下の問いに答えなさい。

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

| 日程 | 研究科 | 区分 | 試験科目 |
|-----|----------|---------------------|------|
| A日程 | 応用言語学研究科 | 一般 社会人 外国人留学生 | 日本語 |

問題文については、
著作権の関係から掲載いたしません。

- (1) 下線部 A「走る」も同様である をわかりやすく説明しなさい。
- (2) 空欄 に入れるのにふさわしいことばを記しなさい。
- (3) 下線部 C広々とした荒野を抜けて町にたどり着いた という表現が不適切である理由を、本文の説明に沿ってわかりやすく説明しなさい。
- (4) この文章を読んであなたが考えたことを、120字以上150字以内で述べなさい。